

大井田 広報

第23号

発行日
令和4年3月10日

発行者
大井田地区振興会



大井田の郷公園

一年を振り返って

大井田地区振興会長 白川 洋平

今年度もコロナ禍での振興会の運営でしたが、かねてから要望してまいりました旧給食センターの解体が決まり、十一月半ばに解体が終了し跡地も舗装され広場としての利用が可能になりました。今後は消防、防災関連施設の充実に力を入れてまいります。

また、これも念願でありましたコミュニケーションセンターの男女別のトイレ改修も出来ましたが予算の都合で女性用の便器は新調出来ませんでした。女性トイレの便器も近い内に改修したいと考えておりますので暫くの間待つて頂きたいとおもいます。

西線の田川橋の舗道設置ですが今年度測量しましたので近く工事に着工すると思っておりますのでこちらも期待してお待ちください。

昨年もお伝えしました、大井田地区振興会もコミュニケーション協議会として発足するべく今年度十日町市と協議に入ります。これは市全体の公民館制度の見直しの一環です。

小中学校の学区編成については今十日町自治連絡協議会で昨年からの報告を受けています。学区は中々意見が出ません、吸収される学区の事をもっと真剣検討すべきで、要望があれば尊重します。地域が反対すればできませんと云いながら今の段階では要望も聞かないでアンケートばかり取ってアンケートで説得するような状態です。これから少子化は進んでいきます、小人数での教育を実践すべきです。

色々な考え方が有るとおもいます。私の考えはまず小中一貫にするそれでも少なくなる場合は幼児も入れ幼小中一貫にする事により地域からは学校を無くさない

ですみ、地域の衰退に歯止めがかかり、レベルのたかい教育ができるかと考えます。

サルナシ栽培事業ですが、3年が経ちサルナシの実が40キロ収穫されました、六万円の収入に成りました、令和4年は前年より収穫は多くなると思えます、今後も地域の皆様と協力し収穫増に成るよう頑張っております。サルナシは今注目の果物であります、十日町に自生したサルナシを植栽し栽培されたサルナシは特に栄養分が高く健康食品としても高く評価されているのです、時間をかけてじっくり育て自前の物にしましょう、いずれ宝物になるとおもいます、ご協力お願い致します。

コロナの感染がインフルエンザ並みの感染です、ワクチンを打って予防策を徹底しコロナに負けない生活を送りましょう。

新役員の紹介

田川新副会長



令和3年度より村山副会長さんの後任に田川副会長が選任され振興会業務に励んで貰っております。

五軒新田から村山重太郎さんから引き継ぎました田川道夫です。家族は原信のパートナーの妻、娘、小学校に通う孫、私の4人家族です。会社を定年退職し稲作、少しの畑を耕しながら中条小学校の放課後児童クラブで支援員をやっています。わからないことが多くですが皆様の力とお知恵を借りながら微力ではありますが、少しでもお役に立ちたいと願っています。宜しくお願いたします。



防災関係者に救助ヘリコプター装備の説明。



新十日町消防本部において、ヘリコプターによる救助訓練を行いました。

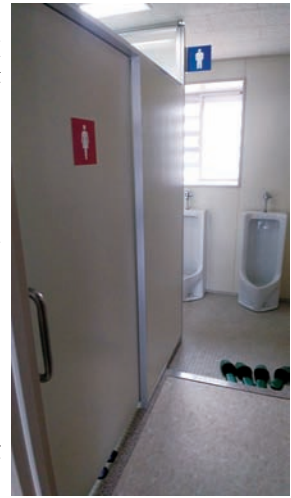
災害救助訓練風景



今年度、歩道橋の測量がおこわれました。令和4年度から少しずつ工事が始まります。

西線田川橋歩道設置予定

懸案だった男女共用のトイレに仕切りを入れることにより男女別々に使用頂けるようになりました。
 いままでは、紳士淑女の皆様に肩身の狭い思いで利用して頂いておりましたが、少しは、気楽に使ってもらえるようになったのではと思っております。市の方には、多額の工事費を使っ
 て頂き便利になり心より御礼申し上げます。



コミュニティセンターのトイレが改修されました。



こんな所でも椎茸が育ちます。

コミュニティセンター脇



JA 十日町様より停留所を作って頂きました。ありがとうございます。

新しい停留所（四日町）



令和3年11月 新しい苗を植えました。



収穫後のサルナシ苗

サルナシ育成状況

令和3年8月27日要望事項をまとめて、十日町市及び、新潟県地域振興局、地域整備部に要望事項を提出致しました。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から要望事項の提出にとどめました。それから、令和3年～令和5年にかけての地域自治推進計画をお知らせします。大井田振興会の活動の原点とも言うべきものです。皆様方からのご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

大井田地域自治組織 地域自治推進計画書（案）

1. 計画期間 令和3年度～令和5年度

2. 大井田地域の現状

(1)地域の特徴

- ①中心市街地に隣接する住宅街と農業振興地域が存在する地域
- ②十日町市13地区で唯一ハザードマップ上災害が最も起こりにくい地域、「安全・安心で住みやすい地域」
- ③大井田同族会が設立されて、役20数年が経ちましたが地域としてはその後大井田の歴史を語る会など年に1度開催し大井田の郷の歴史を学ぶ。
- ④十日町市が地域自治組織の推進を上げている中で、コミュニティセンターの改築、地域自治活動に対しての人的支援、ボランティア団体との連携を支援するなど、コミュニティの活性化を図るため、自主防災、地域福祉、地域文化の保全、継承活動を支援する計画です。当地域は災害時の避難所の不足と消防防災施設の整備が求められております。

3. 大井田地域の課題

- ①ここ半世紀の間、地場産業である織物業の衰退に伴い、当時10店舗相当あったお店が年々減り始め遂に3年前に全店舗が無くなりました。
出来るだけ早く買い物難民を解消する為に知恵を出し合い努力し続ける。
- ②安心・安全の地域づくり（災害時における二次避難所の不足の解消）
- ③地区の東西を結ぶ幹線道路（市道四日町新田都市計画道路と市道6号線延長）の整備
- ④旧給食センター解体後の利活用の検討・整備。
- ⑤中学校の学区編成問題が立ち上がり、地域のコミュニティが壊れるのが不安。
- ⑥今後1、2年の内に公民館のコミュニティ化が図れますので、当地域もコミュニティ化に参加することによりセンターの管理が市当局の管理に移り期待したい。

4. 大井田地域の将来像、目標

(1)将来像

「歴史と文化にふれあい安心して住み続けられる大井田地区をめざして」

※将来像を具現化するため以下の事項を重点目標とする。

- ①地域の連携で、「安心・安全な地域コミュニティづくり」
- ②大井田の郷公園の管理体制充実と整備。
- ③公民館が、コミュニティ化される中地域の活性化をはかるため新たに新事業を推進し、地域の皆様との連携をはかる。

5. 大井田地域の3年間のキャッチフレーズ

「防災関連施設の改設と地域に根差すミニ産業の構築」

6. 大井田地域の基本方針

- (1)長い間の念願で有りました旧給食センターの解体ができました。
跡地利用について、地域消防防災設備の統合と防災整備の充実の為に統合し老朽化した設備を解体し新たに消防防災施設を立てる。
- (2)3年前、県の補助事業でサルナシ栽培事業が認められました。
この事業を進める事により収入を得て、まず振興会の運営費に補填し、後々地域の休耕地の多くで栽培することにより少しでも地域の活性化につなげる。

7. 事業の実施計画

- ①振興会傘下団体との連携をより強化し、地域自治組織の形成を図る。
- ②地域要望等に基づく道路や住環境整備を図る。
- ③地域消防施設の老朽化と、統合による経費節減の為に1昨年度より新たな施設を建てて頂くよう要望しています。
 - 1、消防車庫・防災備品倉庫・休憩室・集会室など含む建物
 - 2、災害時の避難所としての整備。
- ④スモールビジネス開拓の一つであるサルナシの栽培を新しいコミュニティ構想化の中での生涯学習振興事業の中でも取り入れる。

旧給食センター解体・整地が行われました

長年の懸案事項であり大井田振興会の願いでもありました、旧給食センターが取り壊し撤去作業が完了致しました。跡地はきれいに舗装をして頂き色々なイベントにも活用出来るし又、災害時の緊急避難場所にも活用できると思います。地域の皆様にも有効に使用して頂けるよう色々な計画も練っております。皆様方からもご意見等いただければ参考にしたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



市財政課長による旧給食センター解体の説明会



解体前



解体作業が始まりました



解体作業



解体作業



11月解体作業終了後整地されました

管理委員会活動報告

- 4月25日 花壇バラ植え替え
 - 5月2日 コミュニティ春作業 (冬囲い外し及び館内大清掃)
 - 5月14日 花壇整備作業
 - 5月24日 避難所開設訓練 (市役所防災安全課)
 - 5月25日 旧給食センター解体 工事の説明会(財政課)
 - 5月30日 コミュニティ周辺の草刈り作業
 - 7月18日 コミュニティ周辺の草刈り作業
 - 8月7日 コミュニティ周辺、除草剤散布
 - 9月19日 コミュニティ周辺、広場の草刈り、花壇整備
 - 11月14日 コミュニティ秋作業 (冬囲い作業及び館内大清掃)
- ★5月～10月 随時花壇の水やり、草取り、剪定作業



編集後記

昨年の大雪にびっくりさせられたのですが、今年も良い勝負になってしまいました。NHKの大河ドラマでは、鎌倉殿の13人が放映されています。何十年前の大河ドラマ全盛時には、日曜の夜は、サザエさん、ポパイ、そのあと大河ドラマが、ルーティーンの少年が多かったように思います。ドリフターズが、全盛を極めたころから次第に大河は、少数派に追いやられたように思います。

この大井田地域の【大井田】のルーツに繋がる時代に近い大河ドラマです。先般、十日町市議会の一般質問で大井田の歴史を子供達に学んで貰ったほうが良いという意見がありました。振興会も大井田の歴史をどう繋いで行けるか模索中です。じじ、ばば、も大河ドラマを機会に孫たちに大井田のことを話してもらえれば、いいかなと思っております。

広報 大井田 第23号

発行 大井田地区振興会
印刷 シーアイシー